

2022.11.08

国立情報学研究所
学術基盤進部学術基盤課
クラウドクラウド支援室

学認クラウドオンデマンド構築サービス試用環境利用の手引き

1. はじめに

学認クラウドオンデマンド構築サービス（以下「本サービス」という。）がどのようなサービスかを確認していただくことを目的に、本サービスの試用環境（以下「試用環境」という。）を用意しました。

2. 対象ユーザ

大学・研究機関の正式な内部組織やプロジェクト（以下「利用グループ」という。）を対象とします。利用グループによる1回の申請で、利用グループに属する複数のメンバーが利用できます。

3. 試用環境

クラウド支援室が提供する環境クラウド基盤は、Amazon Web Services となります。

4. 利用時に準備いただくもの

以下の仕様を満たす端末をご用意ください。

- 所属機関のネットワークに接続されていること
- インターネットにアクセス可能なこと（http ならびに https が利用可能なこと）
- Web ブラウザが利用可能なこと（Firefox、Chrome）

5. 試用期間

試用環境ご利用開始日から 4 週間ご利用いただけます。ただし、利用グループ毎に割り当てる利用料金と試用環境全体の利用料金には上限がありますので、以下のいずれかに達した場合、試用期間終了となります。必要な情報は常に各自でバックアップしてください。

- 各利用グループのクラウド資源利用料金が上限に達した
- 全利用グループのクラウド資源利用料金の合計が上限に達した

クラウド資源の利用料金が上限に達する前に、事前にこちらから連絡いたします。また、ご利用機関からクラウド資源の利用料金についてお問い合わせいただくことも可能です。

上記終了条件以外の試用期間終了については、「7.利用ガイドライン」をご参照ください。

6. 申請方法

別紙 2 の「学認クラウドオンデマンド構築サービス試用環境利用申請書」に必要事項を記入し、下記の要領で宛先にメールでお送りください。

- 送信者 : 所属機関のメールアドレス
- Cc : 申請者（責任者）の所属機関おけるメールアドレス
- サブジェクト : OCS 試用環境利用申請
- 宛先 : cld-ocs-entry@nii.ac.jp

7. 利用ガイドライン

試用環境の利用ガイドラインは、本サービスの利用ガイドライン「クラウド利活用支援サービス利用ガイドライン」

(<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/pages/viewpage.action?pageId=21455659>) に準じます。

ここでは、本サービスと試用環境の遵守事項の違いについてのみ説明します。

これらに反した利用を認められた場合は、試用期間中であっても試用を停止することがあります。

- 利用者のクラウド資源の利用は、所属機関のポリシーを遵守してください。また、所属機関のポリシーが許可していても、本試用環境の計算・ストレージ資源には、個人情報や秘密情報（研究データを含む）を格納しないでください。
- 利用可能なクラウド資源（インスタンス）タイプに限りがあります（別紙1参照）。この資源タイプだけでは有効性が判断できない場合はご相談ください。
- 試用環境ではクラウド基盤の資源管理機能（プロバイダのポータル、CLI 等）は利用できません。本サービスの資源管理機能をご利用ください。なお、正規環境ではクラウド基盤の資源管理機能も利用可能です。
- 利用グループにはクラウド基盤のアクセス管理されたユーザアカウントが1つ提供されます。複数のメンバーで利用する場合は、メンバー毎に異なる本サービスのアクセストークンを配布して利用してください。このアクセストークンは、本サービスの管理機能により発行できます。なお、複数のメンバーによる一つのアクセストークンの共有はしないでください。
- 本サービスでは、クラウドプロバイダとの接続として SINET 接続とインターネット接続をサポートしていますが、試用環境ではインターネット接続のみ利用可能です。

8. サポート体制

Slack によるサポートを行います。サポート Slack チャンネル、マニュアル格納先などは、試用環境準備完了メールにてお知らせします。

サポート対応時間 平日 9:00～17:00

9. その他

試用期間終了後にはアンケートへのご協力をお願いします。

10. 担当連絡先・問い合わせ先

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課 クラウド支援室

E-mail: cld-ocs-entry@nii.ac.jp

(別紙 1) クラウド環境の利用可能資源一覧

試用環境では下表のクラウド資源（インスタンスタイプ）を利用できます。

（利用できるインスタンスタイプは適宜変更される可能性があります。）

同時利用可能数は、試用環境のすべての利用ユーザーによる利用数の合計が上限となります。

1つのインスタンスタイプを上限以上に利用されたい場合、下表のインスタンスタイプだけでは本サービスの利用有効性の確認ができない場合は、クラウド支援室までご相談ください。

(参考) 利用量の上限の目安

インスタンスタイプ：m5.large（1 インスタンス）ブロックストレージ：100GB

利用時間： およそ 360 時間

利用可能 OS : alpine linux, CentOS, Ubuntu

利用可能インスタンスタイプ

インスタンス タイプ	同時利用可能数 (全利用者合計)
標準サーバ	
t2.nano	40
t2.micro	40
t2.small	26
t2.medium	13
t2.large	6
t2.xlarge	3
t2.2xlarge	2
m5.large	8
m5.xlarge	4
m5.2xlarge	2
m5.4xlarge	2
m4.large	6
m4.xlarge	3
m4.2xlarge	2
m4.4xlarge	2
t3.nano	40
t3.micro	40
t3.small	29
t3.medium	14
t3.large	7
t3.xlarge	4
t3.2xlarge	2

インスタンス タイプ	同時利用可能数 (全利用者合計)
大容量メモリサーバ	
r4.large	5
r4.xlarge	2
r4.2xlarge	2
r4.4xlarge	2
計算性能サーバ	
c5.large	9
c5.xlarge	5
c5.2xlarge	2
c5.4xlarge	2
c4.large	6
c4.xlarge	3
c4.2xlarge	2
c4.4xlarge	2
GPUサーバ	
p2.large	2
g3.4xlarge	2
ストレージサーバ	
h1.2xlarge	2
h1.4xlarge	2
i3.large	4
i3.xlarge	2
i3.2xlarge	2
i3.4xlarge	2
d2.xlarge	2

※スポットインスタンス、ならびにオブジェクトストレージ (S3) は正規環境ではご利用いただけますが試用環境ではご利用いただけません。

(別紙 2) FORM-OCS-TRIAL-19071

学認クラウドオンデマンド構築サービス試用環境利用申請書

国立情報学研究所 学術基盤推進部 クラウド支援室長 殿

「学認クラウドオンデマンド構築サービス試用環境利用ガイドライン」を遵守し、次のとおり申請します。

申請日付 年 月 日

申請内容 (新規/変更を選択してください)	
<input type="checkbox"/> 新規	利用目的:
<input type="checkbox"/> 変更	内容:

申請者 (研究室長など責任者であること)	
機関名	
所属	
職名	
氏名	
氏名フリガナ	
email (所属機関のメールアドレス)	

オンデマンド構築サービス試用環境 管理担当者	
機関住所	〒
所属	
氏名	
氏名フリガナ	
email (所属機関のメールアドレス)	
学認 ID または NII OpenIdP ID	

接続情報	
端末ソース IP アドレス ※試用環境にアクセスする端末の IP アドレスレンジを記入してください。極力狭くお願いします	

備考